

2025年度事業報告

指定管理施設「江の島岩屋」



藤沢市指定管理施設「江の島岩屋」 2025年度事業報告書
公益社団法人藤沢市観光協会

目 次

I. 施設の執行体制	2
II. 施設の利用者数	2
III. 施設の利用促進と来場者サービス	3～8
IV. 年間宣伝活動	8～9
V. 利用者意見等の把握	9
VI. 研修・訓練の実施	10
VII. 施設の維持管理	10
VIII. 危機管理について	11

2025年度江の島岩屋事業報告書

I. 施設の執行体制

下記の表のとおり職員を配置し、管理運営を行いました。

役職名	人 員	業務内容	資格・実務経験等
施設長	1 人	管理運営統括責任者	観光協会実務 10 年以上 救命講習修了
正職員	2 人	施設長の補佐 防災安全管理 料金所窓口業務 利用促進・地域連携	観光協会実務 1 年以上 救命講習修了
嘱託職員	2 人	料金所窓口業務 接客サービス	救命講習修了
臨時職員	7 人	維持管理、清掃 接客サービス	救命講習修了

年間の営業時間

江の島岩屋の営業時間は次のとおり延長しました。

《2025年度》

4月1日～4月25日

午前9時～午後5時（最終入場時間）

4月26日～9月30日

午前9時～午後6時（最終入場時間）

10月1日～2026年3月31日

午前9時～午後5時（最終入場時間）

*台風等による終日閉洞日・・・0日

Ⅱ. 施設の利用者数

年間利用者数【569,487人】

月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
人数 (人)	44, 301	52, 819	49, 040	46, 585	68, 456	51, 665
月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
人数 (人)	42, 559	46, 893	37, 273	39, 927	36, 944	53, 025

※太文字の赤字は過去最高の月間入洞者数です

Ⅲ. 施設の利用促進と来場者サービス

江の島に訪れる、お年寄りからお子様まで、また、国内外から来訪した様々な観光客に対し、洞窟という自然空間ならではの特徴を活かしながら、来場者のサービスに努めた。

また、イルミネーション等、江の島全域で実施するイベントに対し、観光客の周遊性を促進するため岩屋として参加した。

来洞者に人気のある手燭ロウソクの貸し出しサービスもゴールデンウィークの一部を除き、休むことなく実施した。

入洞者数に関しては、年間を通し、天候が安定していたことや、インバウンド客の増加等により、週末のみならず、平日や冬期の来洞者数の底上げがされたことにより過去最高となり、施設が再開した年から31年振りに入洞者数を更新した2024年度の記録をさらに超えるものとなった。

さらに、2025年10月には江の島岩屋が再開してから入洞者数が900万人に達したことを記念し、900万人目の入洞者となったお客様を囲み岩屋入口で記念式典を行ったほか、記念イベントとして「江の島岩屋探検ナイトツアー」を初めて開催した。

ナイトツアー実施の際は、江島神社神職により岩屋の歴史的価値等についての講義をいただき、大変好評であった。

1. 稚児ヶ淵からの風景写真展

4月5日（土）～5月6日（火・祝）

内容：第二岩屋橋に江の島岩屋周辺から望める夕景等の写真を展示し、江の島のPRをした。



2. 混雑時の案内係の配置

4月26日（土）～5月6日（火・祝）及び8月9日（土）～17日（日）

内容：混雑が予想されるゴールデンウィーク及びお盆期間中に、岩屋入口に案内係を配置し、入場待ち列の整理、地理案内等を行い、来場者の安全とサービス向上に努めた。



3. ミニ水族館の開催

4月26日（土）～5月6日（火・祝）

内容：ゴールデンウィークの入洞者向け企画として、第二岩屋橋通路に水槽を用意し、タコや、魚、あめふらし等の磯の生物を紹介し好評を得た。



4. 江の島今昔写真展

5月17日（土）～6月15日（日）

内容：第二岩屋橋に江の島の今と昔の写真を並べて展示し好評を得た。



5. 七夕まつり

6月28日（土）～7月7日（月）

内容：展望デッキに、笹竹と短冊を用意し、入洞者が願い事を書いて飾るサービスを提供した。



6. 「江の島灯籠」連携イベント及び日本各地の風鈴展

7月19日（土）～8月31日（日）

内容：江の島夏の恒例ナイトイベント「江の島灯籠」の会場として第二岩屋及び第二トンネルに大型灯籠を並べ、薄暗い洞窟の特性を活かし日中から点灯し入洞者に楽しんでいただいた。また、日本各地の風鈴を飾り、海風薫る涼しげな雰囲気を提供した。



7. 世界の洞窟写真展の開催と映えスポットの設置

9月1日（月）～9月30日（火）

内容：第二岩屋橋に世界各地の洞窟写真を展示したほか、様々な色の風車を第二岩屋橋に取付け、写真映えスポットとして入洞者にご利用いただいた。



8. 江の島や周辺から望む風景写真展

10月1日（水）～10月31日（金）

内容：第二岩屋橋に江の島島内、島周辺の景色やイベント風景を展示し入洞者に好評を得た。



9. 「湘南キャンドル」連携イベント

10月11日（土）～11月3日（月・祝）

内容：江の島秋の恒例イベント「湘南キャンドル」の会場として、第一岩屋の池周辺及び第二岩屋に約200個のキャンドル（火気を使用しない疑似キャンドル）を並べ、薄暗い洞窟の特性を活かし日中から点灯し入洞者に楽しんでいただいた。



10. 江の島岩屋入洞者900万人達成記念関連イベント

10月23日（木）及び12月20日（土）・21日（日）

内容：江の島岩屋入洞者900万人達成を記念し、900万人目のお客様を囲み、江の島岩屋入口でセレモニーを行った。また、記念イベントとして江の島岩屋探検ナイトツアーを初めて開催した。入洞前に江島神社神職による岩屋の歴史的価値等の講話、入洞後は懐中電灯の光のみで岩屋洞内を探索する等参加者にとって大変貴重な機会となった。





1 1. 「湘南の宝石」ライトアップ装飾の実施

1 1月22日（土）～2026年2月28日（土）

内容：江の島冬の恒例イベント「湘南の宝石」の会場として第二岩屋洞内にイルミネーションの装飾を施した。薄暗い洞窟の特性を活かし日中から点灯し、夕方から点灯する島内イルミネーションへ向かう観光客の周遊性と期待感を高めるよう努めた。



1 2. 大晦日から元旦にかけての警備員の配置

1 2月31日（水）～2026年1月1日（木）

内容：大晦日から元旦にかけて、施設周辺が初詣や初日の出を目的とするお客様で混雑することから、制服警備員を配置し安全管理に努めた。



1 3. 湘南江の島春まつり関連イベントの開催

2026年3月7日（土）・8日（日）

「湘南江の島春まつり」の岩屋企画として、洞内展望デッキで岩屋のオリジナルポストカードを配布し、メッセージが書かれたカードをその場で投函するサービスを実施した。



IV. 年間宣伝活動

入洞者の増加を図るため、島内各所へ江の島岩屋の幟旗や案内看板を設置、またフィルムコミッションと協力する等宣伝活動を行った。

1. 幟旗・ポスター掲示

地元商店街と協力し年間を通じて幟旗を掲出し、御岩屋道・江の島岩屋をPRした。

また、レストハウス前の案内看板等へ、イベントポスターを掲出し観光客へ情報提供をした。



2. 当協会が実施するフィルムコミッション事業に積極的に協力することでメディアへの露出を図った。
また、ライブカメラを活用し富士山と稚児ヶ淵の様子を発信、さらに Facebook による情報発信により誘客に努めた。





【ライブカメラ映像】

3. 片瀬漁港マルシェへの参加

6月14日（土）

片瀬漁港で開催されるフィッシャーマンズマルシェで江の島岩屋オリジナルバルーンやパンフレットを配布し地元市民を中心に江の島岩屋をPRした



V. 利用者意見等の把握

お客様アンケート（自己モニタリングの実施）

2026年1月17日（土）～19日（月）に iPad と紙を併用しアンケート調査を実施した。



VI. 研修・訓練の実施

下記表の通り実施した。

区 分	内 容
接客教育	・朝礼実施 意識改革、業務確認、安全確認 毎日実施 ・接客研修 サービス向上、気持ちの良い対応、会話等の教育（O J T） ・観光協会職員研修「マナー研修」 3月25日
観光教育	・施設案内 展示物の説明、形成の歴史、動植物の案内 ・藤沢の観光 江の島の見どころ、周辺の案内、交通案内
緊急時対応教育	・津波対策 避難訓練の実施 自主7月5・6日／11月16日 地域合同2月6日
救急教育	・要救助者の運搬訓練の実施 7月20日／12月14日
環境教育	・周辺環境に配慮した取り組みを進めることができるよう、職員が認識し率先して環境保全に努める研修 日常のO J Tで実施
施設管理上必要な技術教育	・すべての観光客に対して同じサービスを提供できるよう職員の業務能力の平準化を図る研修 日常のO J Tで実施



VII. 施設の維持管理

年間維持管理計画表に基づき適正に維持管理を実施した。



【シェルター清掃】



【電気設備保守・点検】

VIII. 危機管理について

①事故発生時の緊急時に初期対応を行い、江の島岩屋や周辺の安全管理に努めた。

- ・熱中症疑い来場者への対応 3 件・・・経口補水液、保冷パックの提供、必要に応じ救急要請救急隊への引継ぎを行った。
 - ・高波による怪我 1 件・・・・・・・・安全な場所へ移動させ、救急要請、救急隊へ引き継いだ
 - ・磯場から海へ転落 1 件・・・・・・・・海上保安庁へ救助要請を行った。
- その他洞内での怪我（軽傷）等について、消毒液の貸し出し、保冷パックの提供等を行った。

②台風による災害発生が予測される場合は、観光センター、藤沢市と連絡を取り合い、お客様の安全を第一に、迅速に対応した。

9 月 5 日・・・台風 1 5 号接近に伴う大雨のため、土砂災害等の危険性があり、1 5 時に閉洞安全が確認できたため翌日 6 日は通常営業

1 0 月 9 日・・・台風 2 2 号の影響による高波のため、第一岩屋橋の通行が困難なため、1 1 時に閉洞、安全が確認できたため翌日 1 0 日は通常営業

③大地震が発生し津波警報が発令された際、観光センター、藤沢市と連絡を取り合い、お客様の安全を第一に、迅速に対応した。

7 月 3 0 日・・・8 時 2 5 分頃、カムチャッカ半島付近で地震が発生、当初藤沢市には津波注意報が発令されなかったため余震等を注意しながら通常営業を開始。

9 時 4 0 分頃、太平洋側沿岸に津波警報・注意報が発表されたため、洞内のお客様を誘導後、閉洞。

磯場で監視業務を行っていたライフセーバーと協力し、磯場のお客様に注意喚起を行い、岩屋従業員、ライフセーバーもサムエル・コッキング苑に避難。

1 8 時 3 0 分に津波警報が解除となり、翌 3 1 日は通常営業を行った。

※江の島岩屋の緊急閉洞時には周遊券販売所を始め、関係各所に速やかに報告、島内を散策中の観光客への周知、注意喚起に努めた。

